「ハピネス昭和の森ができてよかった!」地域の人々のそんな声を聞くのが目標です。

社会が大きく変化する中で、施設の役割も大きく変化しています。ユニット型特養の先駆けとして法人で培ってきたさまざまな経験を活かし、「ハピネス昭和の森」でも地域の人々に求められる役割を担っていきたいと考えています。

安心して食べていただくために

食べることは生きていくための栄養を補給するだけでなく、日々の暮らしの中での楽しみの1つです。私たちは高齢者の食べる力に合わせた援助方法として口腔リハビリテーションを取り入れ、誤嚥性肺炎や窒息事故を防ぎながら安心して食べていただくためにさまざまな取り組みを行い、つねに最適なサポートを目指します。

入居者の摂食嚥下評価のための検査を行っているところ。歯科医師、看護師、介護職員など多職種が立ち会い、情報を共有します。

最期までその人らしい暮らしを

私たちは介護が必要になっても残された機能を活かし、その方の自立した生活を支えるサービスの提供こそ本当の生活支援サービスと考えます。その人らしい豊かな毎日を送っていただくために、高齢者の意志を尊重し、できるだけこれまでの生活を継続できるようにお手伝いすることを大切にしていきます。

入居者様とのお別れ。施設の正面玄関に職員や他の入居者が集まり、ご本人をお見送りします。

地域のコミュニティ拠点へ

「ハピネス昭和の森」がここにあるからこそ、住み慣れた場所でいつまでも安心して暮らせる拠点づくりを目指します。単なる施設ではなく、地域福祉の核、コミュニティの核となるべく、地域の人々との交流を図る夏祭りや、これからの福祉を共に考えるオープン講座などを積極的に開催。施設内には災害時には市と連携し、防災拠点として要介護者の被災者受け入れ場所となる地域交流スペースも設けます。

地域の人たちも自由に参加していただける夏祭りは各施設で開催しています。スタッフが自ら企画し、入居者、ご家族、地域の人々といっしょに楽しみます。

すべての人の幸せの場に、社会福祉法人ファミリー

社会福祉法人ファミリーの理念は、日々の営みの繰り返しを通じて、地域の人々の核、コミュニティの中心となることを目指していくこと。そして、施設を利用する人々にとっても、働く人々にとっても、そこが幸福を実現する場になることを目指しています。

■法人理念

入居者および利用者が市民として有する権利を制限されることなく、生きがいや尊厳を保持し、安全かつ快適な環境で自由かつ楽しい、充実した毎日を過ごしていただくことを理念に掲げています。それを実現するため、「自由の尊重」「自治権の確立」「自己決定の権利」「創意工夫」の4つを指針としています。

■沿革

1994年3月　社会福祉法人ファミリー設立認可
1995年4月　青森県五戸町に特別養護老人ホーム「ハピネス五戸」開設
1996年10月　青森県五戸町にデイサービスセンター「コスモス」開設
1999年4月　青森県五戸町にデイサービスセンター「ルピナス五戸」開設
2001年4月　青森県南部町に特別養護老人ホーム「ハピネスながわ」開設
グループホーム「ハピネスながわ」開設
五戸町にグループホーム「ハピネス五戸」開設
2005年5月　青森県八戸市にケアステーション「ハピネスはちのへ」開設
2006年4月　東京都足立区に特別養護老人ホーム「ハピネスあだち」開設
2009年8月　神奈川県都筑区に特別養護老人ホーム「ハピネス都筑」開設
2011年4月　青森県八戸市に特別養護老人ホーム「ハピネスやくら」開設
2015年4月　東京都昭島市に特別養護老人ホーム「ハピネス昭和の森」開設予定

■ハピネス昭和の森　計画概要

所在地：東京都昭島市拝島町4036 −14他
敷地面積：4,086.48㎡（約1,236坪）
建造・階数：鉄筋コンクリート造・地上5階建て
建物延床面積：7,117.02㎡（2,152.89坪）
開設予定日：平成27年4月1日

※上記の所在地は計画地です。現在、インターネットで住所検索はできませんのでご了解ください。

■建物概要

事業者　社会福祉法人ファミリー
サービス内容　特別養護老人ホーム（ユニット型全室個室）定員120名
ショートステイ　定員20名
デイサービス（一般型）定員30名／日
デイサービス（認知症型）定員12名／日
居宅介護支援事業所
地域包括支援センター
防災拠点型地域交流スペース

■お問い合わせ

社会福祉法人ファミリー
ハピネス昭和の森 開設準備室
〒196-0014　東京都昭島市田中町562-8　昭島昭和第一ビル本館301号
※JR青梅線昭島駅 北口　左階段降りて徒歩1分（セブンイレブンが入っているビルです）
TEL：042-519-6378　FAX：042-519-6379
担当：開設準備室長　佐藤 康一郎　Mail：koichiro@family-wf.jp

待ってま～す！

特別養護老人ホーム
ハピネス昭和の森
2015年4月開設

オープニングスタッフ募集

いっしょにがんばろう！

昭島でワークしよう！

いちょう並木

イエッ～！

創り、育ち、輝く。スタートはここから！

2015年4月。「ハピネス昭和の森」が、昭島市初のユニット型特別養護老人ホームとして誕生します。地域の人々のニーズにどのように応え、どのような施設になっていくのか、そのカギを握っているのは「人」。ここは自分にしかできない役立ち方を見つけられる場所。新しい一歩を踏み出す人にふさわしいステージになります。

JR青梅線 昭島駅/徒歩12分　　西武拝島線 西武立川駅 /徒歩12分

人を支えることで自分も育ちます。

3/4/5F
個室ユニット型
特別養護老人ホーム

リーダーVOICE
僕は在学中、介護を学んだことがまったくありませんでした。でも、ここにはそういうスタッフがたくさんいます。最初はとまどっても大丈夫。入職3年で介護福祉士、5年でケアマネージャーの資格を取得できるよう、しっかりサポートしていきます。理由は、OJTの仕組みがきちんとできているから。着実にスキルが身につけられるだけでなく、ユニットリーダー、フロアリーダー、特養マネージャーなどのポストも用意されています。やりがいや達成感を得ながら、ステップアップできるのがハピネスの特長なのです。
僕は「はぴねすあだち」の開設時に入職しましたが、新しい施設ではだれもが新人。スタートラインに同時に立てるのが魅力です。「はぴねすあだち」はユニット型特養の先駆けとして注目される中、つねに新しいサービスに取り組んできました。「ハピネス昭和の森」でも、新しい福祉をぜひ実践してください。

もっと上を目指そう!ハピネスには人を育てる環境があります。

内山 省吾（ハピネスあだち）
特養マネージャー・特養生活相談員
埼玉県出身／平成18年度入職
（人間福祉学専攻）

ハピネスのユニット型特養は家庭的で、最初のイメージ通りでした。大学では住まいの環境について学んでいましたが、ここは家にいるような雰囲気を大切にしているので、大学で学んだことにも通じています。

石原 芙美
特養生活援助員
埼玉県出身／
平成25年度入職
（生活デザイン専攻）

入居者さんと：今日も元気！

A様の1日

6:00	起床
8:00	朝食
10:00	余暇活動
12:00	昼食
14:00	ハピネス体操
17:00	夕食
18:45	就床

リーダーの内山さんは大学の先輩。先輩を見ていると自分の将来像も描けます。介護は考えている通りにはいかないけれど、その人のことを考えて対応すると喜んでもらえることがやりがいになります。ハピネスは連休がとりやすいので旅行やスキー、スノボ、バイクのツーリングなど自分の時間も楽しんでいます。

内山先輩が目標です!

柴田 雅哉
特養生活援助員
埼玉県出身／
平成25年度入職
（人間福祉学専攻）

昼食：お昼はちらし寿司

大学まで青森で暮らしていましたが、東京で働きたくてここに入職しました。大学では福祉全般を学んでいて、実際に介護に携わったのは入職してからでした。現場は座学とはまったく違いますが、よい経験になると思っています。
この前、出身大学の就職説明会に行ってアピールしてきましたが、なまりも気にすることはないですよ!

みおちゃんって、呼ばれてます!

ユニット型特養はその方のペースに合わせてお世話でき、コミュニケーションも取りやすいですよ。ご入居者に名前を憶えてもらえるのもうれしいです。後輩を指導する立場になると自分がきちんとできていない点に気づくことがありますが、それも勉強になります。

渡邊 美生
特養生活援助員
埼玉県出身／
平成23年度入職
（介護福祉専攻）

入居者さんの生け花

東京で働きたい人、集まれ〜!

久米田 祐樹
特養生活援助員
ユニットリーダー
青森県出身／
平成23年度入職
（社会福祉専攻）

リビングで：思い思いにゆったり

個室ユニット型

生活を支えるスタッフは「生活援助員」。
多床室だった従来型特養と比べ、個室ユニット型特養は「生活の場」らしさを取り入れ、「尊厳の保持」するという目的に対応しやすいように設計されています。私たちは特養を高齢者の「もう1つの住まい」と捉え、高齢者の豊かな生活の支援者であるためにスタッフには「生活援助員」という呼称をつけました。「住まい」の中で制服は要らない、という発想からユニフォームもありません。単なる介護サービスの提供者で終わらず、高齢者の生きる意志を尊重し、できるだけそれまでと変わらない生活を送っていただくための支援を大切にしていきます。

ここは“HAPPINESS”。みんなでハッピーになろう!

私たちもファミリーの仲間。キミを応援するよ!

1F
デイサービス

リーダーVOICE
デイサービスは介護というよりご利用者が会話を楽しんだり、自宅ではできないことをしていただく場。私は旅行好きなので旅の話をして、気分だけでも出かけた気持ちになっていただいたりしていますが、サービスはスタッフあってのこと。プライベートを充実させることも含め、私はスタッフが働きやすい環境を整えることを大事にしています。ご利用者の期待に応え、信頼関係が結べるよいサービスはそんなところから生まれると思っています。

働きやすいから、よいサービスが提供できます!

橋本 愛子
デイサービスリーダー
デイサービス生活援助員
東京都出身／
平成18年度入職
（社会福祉専攻）

B様の1日

8:30	送迎
9:30	入浴
12:00	昼食
13:00	ハピネス体操
14:00	レクリエーション
16:30	送迎

お花見：お花見に出発！

歌とおしゃべりが好き!

ここに就職を決めたのは第一印象がよかったから。最初、ご利用者が歌う曲は知らない曲ばかりでしたが、もう覚えました。仕事でも歌ったり、おしゃべりしたり、いっしょに楽しんでいます。

押田 綾奈
デイサービス生活援助員
東京都出身／平成25年度入職

ハピネス体操：イチ、ニッ、サンッ！

「楽しい仕事」なんてないと思っていませんか?

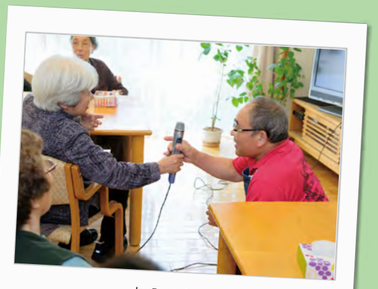
幼稚園の先生になる勉強をしていましたが、高齢者施設に実習に行って考えが変わりました。ショートステイはいろいろなご利用者に出会え、長くいっしょに過ごせるので気に入っています。ハピネスには笑顔を大切に、というモットーがありますが、私もそれを心がけています。

石井 友加里
ショートステイ生活援助員
山形県出身／平成24年度入職
（子ども学専攻）

いつも笑顔で!

C様の1日

8:00	朝食
9:00	送迎
9:30	入浴
12:00	昼食
14:00	レクリエーション
15:00	送迎
	ハピネス体操
18:00	夕食



カラオケ：マイク、どうぞ

ご利用者の絵手紙

人に感謝される仕事に誇りを感じています。

2F
ショートステイ

リーダーVOICE
ショートステイは日々ご利用者が入れ替わるので、あらかじめお一人お一人の情報をきちんと把握することがとても大切です。それに基づいて、その方に合った対応をすればご利用者にもご家族にも感謝されます。介護の仕事は大変とよく言われますが、高齢者の生活を支援することは、家族以外では僕たちだけに許されている特別なことなのです。そんな仕事だからこそ、ご利用者もそのご家族も僕たちのことを本当に可愛がってくれます。僕はこの仕事をやりがいのある楽しい仕事だと感じています。

介護は大変な仕事ではなく、特別な仕事です!

安田 雅俊
ショートステイ&デイサービスマネージャー
東京都出身／
平成18年度入職
（人文学部）